

2020 年度第 2 回 私立大学図書館協会西地区部会スリム化検討委員会議事要録

1. 日時：2020 年 12 月 4 日（金） 10 時 00 分～12 時 00 分
2. 場所：ZOOM 会議
3. 出席：13 校 23 名

役員名称	大 学 名	職 名	氏 名
2020 年度監事校	名城大学	附属図書館情報管理 課課長	川村 信一
2021 年度会長校	西南学院大学 (オブザーバー)	図書館課課長	吉田 進
		図書館課副課長	山下 大輔
2021 年度西地区部会長校	松山大学	図書館事務部次長	高岡 秀典
		図書館事務室事務長	児島 理恵
2020 年度東海地区理事校	日本福祉大学	事務職員	石川 宗臣
2020 年度京都地区理事校	帝塚山大学	図書館課長	屋山 俊幸
		図書館課員	小松 愛
2020 年度阪神地区理事校	大阪樟蔭女子大学	事務長	森本 康平
2020 年度中国・四国地区理事校	徳島文理大学	図書館長	溝口 隆一
		事務長	中井 淳也
		職員	山下 仁美
2020 年度九州地区理事校	福岡工業大学	次 長	中島 良二
		司 書	河野 真奈美
2021 年度東海地区理事校	愛知工業大学	参事	加藤 直美
		課長	榊岡 憲司
2021 年度阪神地区理事校	四天王寺大学	図書館課 課長	豊留 学
		主任	米谷 明
2021 年度中国・四国地区理事校	川崎医療福祉大学	係長	細川 芳美
		副主任	杉本 美佳
2021 年度九州地区理事校	久留米大学	課長	福田 力
2020 年度西地区部会 部会長校	佛教大学	部長	森 智女
		課長	沼尻 直美

議事

I. 経緯説明

第1回 私立大学図書館協会西地区部会スリム化委員会議事録について、承認されたことの報告がなされた。

今回は、ロードマップにそって、①「地区活動の精査」、②「輪番制の抜本的見直し」、③「理事校交通費の経費補助」について、ご提出いただいた提案をもとに検討し、2020年度第2回西地区部会役員会までに輪番制見直し案の提示を目指すことの確認がなされた。

II. 案件

1. 各スリム化案について（提案）

資料 No. 1～11『私立大学図書館協会西地区部会スリム化案』は、地区協議会の総意ではなく、本委員会メンバーとしてのご提案として取り扱う旨、確認がなされた。

資料に基づき、各役員校より提案された見直し案の説明・補足がなされた。

2. 基本的方向性の再確認（審議）⇒これまでの承認事項との矛盾がないか？

2020年度西地区部会総会において、スリム化の段階的措置として、①『地区活動の精査』、②『輪番制の抜本的見直し』、③『理事校交通費の経費補助』の3点に要点を絞り検討することが承認されており、本委員会においてもこの3点に要点を絞り、引き続き検討する旨、確認がなされた。

種々意見交換の後、第3回私立大学図書館協会西地区部会スリム化検討委員会は、②『輪番制の抜本的見直し』の具体案の検討を行うことが確認された。

3. その他

なし

〈意見など〉

【福岡工業大学：中島】

本校も含め、スリム化をするうえで、『研究会の廃止』の提案があるが、協会のメリットがなくならないという不安がある。

【四天王寺大学：豊留】

スリム化の重点を西地区におくのか、地区協議会におくのか、ひいては東地区にまで及ぶのか。今後、どこに焦点を合わせ検討していくべきか、所属するメリットを確認し、枠組みを考えることが最初ではないか。

【佛教大学：森】

①～③の要点に絞り検討し、喫緊の課題として、昨今の九州地区の窮状のように、これ以上脱退校がでるようなことがないことを目途に西地区役員会・西地区部会総会での提案をめざし、

検討していくことがこの委員会での役割であることが確認されている。特に②の輪番制の見直し案を3月の第2回西地区部会役員会において提示することが前回委員会において承認されており、それを目指したいと考える。

【四天王寺大学：豊留】

地区において、役員を担うべき基準に差があるのか？東地区では収容定員以外に『遂行できる大学』という文言があるようだが、このように基準の見直しも必要ではないか。

【佛教大学：森】

現在、会長校については、8,001人以上、西地区部会長校・西地区部会総会当番校・西地区部会研究会当番校については、収容定員が6,001人以上の大学ということが西地区部会の規定（申合せ）に記されている。各地区協議会理事校・研究会幹事校については、地区においてそれぞれ基準が設けられていると承知している。

【帝塚山大学：屋山】

この2年間、前西地区部会長校 大阪工業大学からスリム化検討案を引継ぎ、検討に携わる中で、まずは西地区部会でできることを提案し、前に進めるという認識で、今回の提案を提出している。業務負担の多い『会長校』『西地区部会長校』『総会・研究大会当番校（全国版）』の業務を行いながら、各地区協議会の任務にあたることについては大変であると理解している。提案として具体的に『西地区全体による輪番制』の表を提出した。

各地区協議会での活動については、地区により差があり、今後精査するうえでも各地区内で調整が必要だと考える。思うところはあるが、今回は『今できるところでの提案』である。

【佛教大学：沼尻】

活動の見直しについては西地区部会の精査ではなく、まずは地区協議会から精査していくことが6月の2020年度西地区部会総会にて承認されていることが言及された。今回の委員会では、地区活動を縮小し、西地区の輪番制を抜本的に見直すことが話し合いの焦点となっており、まずは段階的に地区活動の縮小を各地区にお任せし、そのうえで、西地区全体のスリム化を検討する方向で進めたい。

【松山大学：児島】

今回の提案で『輪番制』についての具体案は記載していないが、実務の業務委託化をすることが輪番制の見直しにつながると考える。今回の見直しは大きく改変する良い機会である。

今後大規模校においても役員校の依頼が来た場合、各大学職員数の減少や図書館経験のない職員が図書館業務を担うことが想定されるため、業務委託化することは必要だと考える。

また、協会加盟のメリットとしては、司書関係の質の高い研究会などもあるが、図書館の経験がない職員が業務のことを学べる機会や、図書館員同士の情報共有・相談の場としての意義も

ある。

【日本福祉大学：石川】

輪番制の見直しについて、収容人数だけではなく、職員数や職員の図書館経験などもふまえた輪番制についても考慮いただきたい。

東海地区においては、協会誌発行、実務者研修会等、地区活動は活発に活動しており、地区活動の精査を検討する際、加盟館のメリットがなくなることはないよう考えたい。

【佛教大学：森】

本日のまとめとして。

①地区活動の精査について

それぞれの地区協議会において、メリットを損なうことがないような活動の精査を検討していく。

②輪番制の抜本的見直し

基準の設け方などについて課題はあるが、地区による輪番ではなく、西地区全体で同じ母数による輪番制とすることについては、各提案からも概ね合意できると思う。

③理事校交通費の経費補助

今年度、コロナ禍において各イベントのオンライン開催実施等が立証されている。これらのことで余剰する費用の活用なども今後検討していく。

次回は、『②輪番制の抜本的見直し』について具体案の議論を深めていくこととしたい。

【西南学院大学：吉田】

地区協議会の活動について、各地区内で話し合う際に、事前に西地区の今後の活動プラン等を提示しなければ、地区だけで今後の活動について精査することは難しいのではないか。たとえば西地区研究会をオンラインで開催するので、これを各地区の加盟館の方が視聴できるといった見通しを示すことで、地区研究会を閉じるなどの検討が動き出すかと思われる。

【佛教大学：沼尻】

次回、第3回私立大学図書館協会西地区部会スリム化検討委員会までに、『②輪番制の抜本的見直し』の具体案について意見を募ることの協力依頼がなされた。また、次回日程については、1月下旬～2月上旬を予定していることの連絡がなされた。